

岐阜県山県市

岐阜県山県市高木1000-1

担当課：健康課

〒501-2192

☎0581-22-6838 FAX0581-23-0129

Eメール：kenko@city.gifu-yamagata.lg.jp

本市のデータ

(1)面積 約222.04km²
南北に約25km、東西約14kmの範囲に広がる

(2)人口 (人)

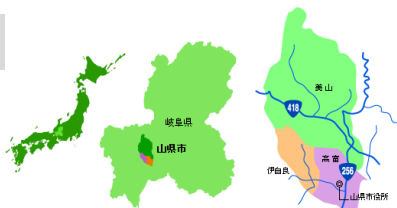
35国調	12国調	17国調	22国調
27,167	30,951	30,316	29,633
65歳以上人口比率(22国調)			25.2%

(3)世帯数

35国調	12国調	17国調	22国調
5,623	9,098	9,470	9,688

(4)沿革

平15.4.1合併(市制施行) 高富町 美山町 伊自良村



(5)産業構造

区分	就業人口	就業人口
	45国調	22国調
1次	4,210人 29.4%	846人 5.2%
2次	6,086人 42.5%	7,863人 48.3%
3次	4,024人 28.1%	7,570人 46.5%
計	14,320人	16,279人

本市の概要

山県市は、岐阜市の北部に隣接しており、1999年に合併特例法が改正されてから岐阜県で最初に誕生した自治体です。山県市は、おいしい水と豊かな緑、自然の恵み多き「山紫水明」の地で、戦国時代には、美濃の国を治めた土岐氏が本拠地として、斉藤道三との抗争を繰り広げたとされる歴史的な地域でもあります。本市の名は正倉院に現存する最古の戸籍に記された「御野国山方郡(みののくにやまがたのこおり)」に由来しています。

利平栗発祥の地として知られるほか、「連柿」と呼ばれる干し柿作りが盛んに行われ、軒先に吊す風景が初冬の風物詩になっている。また、産業では、水栓バルブ発祥の地といわれ、全国シェアの30%を占める生産は日本一を誇っている。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

平成10年から平成21年まで12年間の自殺者数は89名。年によって自殺者数のばらつきがあるものの、年平均にすると約7人。男女比は約2:1、男女とも60歳代まで増加の傾向にある。65歳未満の死因はがん、脳卒中に続いて第3位である。(H15-19年)

こうした現状を踏まえ、平成21年度より、自殺予防対策を市の重点施策と位置付け、「自殺のない社会をつくろう」を掲げ、行政だけでなく専門家や関係団体、市民などいろいろな立場の人たちと共に問題意識をもつことからはじめ、対処の方法を考えたり、相談窓口の整備や市民への啓発、支援者のスキルアップを図るなど、連携を図りながら進めている。

<具体的な取組み>

(1) 総合的な取組の推進及び関係機関との連携

- H22年度～
うつ・自殺対策ネットワーク会議の開催
(構成:13団体、庁内4部署)

(2) 人材育成

- H22年5月 ①市職員(4部署5名)先進地視察(秋田県能代市)
- H23年度 ②市民相談従事者(職員、こころの健康づくり市民ボランティア)の相談支援スキルアップ研修会(3回/年)

(3) 専門相談事業

- 精神科医師によるこころの健康相談
うつ病、メンタル問題を抱える市民に対し医師が面接

(4) 啓発活動

自殺予防街頭啓発

- H21年度 市内中小企業を訪問し、メンタルヘルス(うつ病)に関する情報の普及啓発と、メンタルヘルス講演会への参加を呼びかけ
- H22年度 ショッピングセンター等にポスターを掲示する等、うつ・自殺対策講演会開催のPR
- H23年度 ①山県市 オリジナル自殺予防パンフレット(市民用・相談従事者用・自死遺族者用)の作成。
②ショッピングセンター等で職員、市民ボランティアによる自殺予防街頭啓発相談窓口チラシと自殺対策普及啓発グッズ(ティッシュ、ボールペン等)を配布し自殺予防、相談窓口をPR

(5) 講演会

- H21年度 ①メンタルヘルス講演会
講師:講師:岐阜聖徳学園大学短期大学部 非常勤講師
臨床心理士 樹下 晃代 先生
- H22年度 ②うつ・自殺対策講演会
講師:岐阜大学医学部附属病院 精神神経科 准教授
医師 植木啓史 先生
- H23年度 ③自殺予防講演会
講師:NPO法人 心に響く文集・編集局 代表
茂 幸雄 先生
- (予定) ④「自殺予防対策」子育て講演会
講師:真生会 富山病院 心療内科部長
医師 明橋 大二 先生